

本部長 竹内 政司〔多摩支部 竹内運輸工業(株)〕

千代田支部ロジ研副部長 佐藤 克典〔サトランス(株)〕

第45回衆院選は30日投票、即日開票され自民党が歴史的敗北を喫し、民主党が政権を手中に収めた。政権交代を実現できた理由は新聞や週刊誌、テレビやラジオなどマスコミが色々な角度から分析しているが、何れにしても民主党が政権与党になったことは厳然たる事実である。まさに諸行無常である。

西洋にこんな言葉がある。「ガリヴァー旅行記」の著者であるジョナサン・スウィフトは、「この世で変わらないのは、変わるということだけである」という言葉を残し、古代ローマの博物学者・政治家で「博物誌」(Naturalis Historia)を書いたプリニウスは、「ただひとつ確かなことは、確かなものなど何もないということだけだ」という名言を残した。また、「種の起源」で有名なチャールズ・ダーウィンは、「強い者、頭の良い者が生き残るのではない。変化するものが生き残るのだ」と、適者生存を説いている。

世の中の流れを感じ取れず、社会の変化に自らを変えることが出来ないと生き残れないのは、政治の世界も例外ではなかった。振り返って、我々の日々の仕事を見たとき、やはり事業環境は時代と共に、そして景気と共に大きく変化している。企業は自らの変化を放棄したとき、時代の大きなうねりの中に飲み込まれてしまう。企業にとって、既存のもの、伝統的なもの、確立されたもの、今までその組織が最も誇りにしてきた能力に固執し、他のいかなることも不可能であると断定するならば、結局は変化によって破滅させられることになってしまうだろう。

変化はコントロールすることはできない。その中で我々にできることは、変化の渦に巻き込まれるのではなく、自分自身が変わり、変化の渦を作り出し、時代の流れの先端に立つための努力をしなくてはならないということだと思ふ。そして、ロジ研は、何ものにもとらわれず、自由な発想で、我々実運送に携わるトラック事業者にとって、そして国民の生活を守り、日本の産業を支えるトラック運送事業そのものにとって、何が最適な施策なのかを議論し、見極めることが重要だと考える。同時に我々自身も環境に配慮し、安全な運行を通し、社会に安心を提供できる企業とならなくてはならない。自らが自らを律し、いつでも社会が求める要求に対し、企業としての確な対応を取り、時代の要請に応えていかなければならないと思ふ。

◆第1回ロジ研オープンセミナー 研修委員長 藤倉泰徳〔足立支部 (株)藤倉運輸〕

東ト協ロジスティクス研究会の今年度の第1回オープンセミナーを開催させていただきました！

昨年からの「安全と安心の実現」というテーマにのっとり、企業の安全、環境の安全、交通の安全等々を実現するために我々が何をすべきかを、どうあるべきかを学んでおります！

今回は「高速道路の無料化とは」というテーマで2002年から高速道路の無料化を提唱しておられる山崎養世氏をお招きしてお話を伺うことができました！



山崎氏

8月17日にはテレビ朝日の報道ステーションで猪瀬直樹東京都副知事と生討論をされたばかりで、ご覧になった方はそのときの裏話も聞けて良かったのではと思っております！(無料化への批判についての反論がこちらに掲載されてます) http://www.the-journal.jp/contents/newsspiral/2009/08/post_351.html

最後の質疑応答では色々な質問を真剣に皆さんされてましたね。「高速道路が無料になったら、協同組合の運営が成り立たなくなる」というのが我々業界の大きな問題ですが、成り立たすことを考えるのが我々の役目であり、するべきことだと思いますし、組合の目的、存在意義が、組合員の繁栄とすると我々にとってどちらが本当に良いのか真剣に考える必要があると思ひます。(生意気を言ってすみません)

衆議院総選挙では民主党の大勝となりましたが、どんな形になっても我々は企業を存続させていかないとはいけません。皆で力を合わせて頑張っていきましょう！

◆お知らせ《行事予定》

- 9/15(火)17:40～ 正副本部長会議(大崎)
- 9/24(木)18:00～ 青年部オープンセミナー(東ト協4F)受付中
- 10/7(水)16:00～ 正副本部長会議(東ト協6小)
- 17:30～ 幹事会(東ト協6中)
- 10/16(金)～17(土) 温故創新(松山～高松)受付中

8月7日(金)ロジ研千代田支部の定例研修会を横浜開港150周年記念イベント『開国博Y150』に於いておこないました。このイベントは、ベイサイドエリア・ヒルサイドエリア・マザーエリアの3つのエリアで開催されていますが、午後2時からの研修会であったため、ベイサイドエリア中心の見学となりました。

このイベントのテーマは横浜の未来への「出航」ということですが、ちょうど黒船「観光丸」の乗船体験期間とも合致し、1時間ほど蒸気帆船で横浜港内を周遊見学することができました。その後、シアターに於いて540インチという超大型のスーパーハイビジョンの映像と音響で究極の臨場感を味わい、日産自動車を作った戦後初の電気自動車を見た後、明日から出来る「思いやり活動」で葉っぱの形の紙に思いやりの言葉を記入し、大きなバルーンに入れて地球環境を考えました。

はじまりの森では巨大スペクタクルアート劇団による巨大クモ(ラ・マシン)のショーを見ながら「生命ある機械の動き」に魅了されました。

その後山下公園等を散策し、最後に中華街で美味しい料理を食べながら部員の懇親を深め、研修の成果を語り合い、無事に閉幕しました。

葛飾支部ロジ研副部長 鈴木 三津雄〔青戸運送(株)〕

平成21年8月27日(土)柴又「川千谷」にて恒例の関交協主催による葛飾支部員の指導的立場の方々を対象とした「事故防止講習会」が開催されました。

テーマ及び講師は次の3名の方々です。

①「企業における安全風土づくり」関東交通共済協同組合 常務理事 安藤 実 様、②「物流業界に入って50年 我が人生を振り返って」(社)東京都トラック協会 会長 星野 良三 様、③「ドライブレコーダー導入後の運用について」足立支部副支部長 (株)藤倉運輸代表取締役 藤倉 泰徳 様

なかでも星野会長の人生の遍歴、考え方には愕き感銘をうけました。

又、藤倉社長の自社のドライブレコーダーの活用は大変参考になり、私も見習わなければと思った次第です。

最後に葛飾支部は「飲酒運転、しない、させない、見逃さない」を誇りある緑ナンバートラック関係者としてここに宣言した事をご報告致します。

◆本年度の温故創新で訪ねる秋山兄弟とはII(秋山好古、前回の続き)

しかし、日露戦後多くの軍人は、秋山の言とは裏腹に、驕り高ぶりしだいに功名を追いようになり、武力で満州や中国を制圧する暴挙にでた。実際太平洋戦争は、好古が戒めた「勝ち戦に驕り功名を追えば、敗れる」を地でいくようなものであった。

好古のような軍人がもう少し多くいたならば日本は、おそらく別の道を歩んでいたであろうといわれている。

好古はその後、近衛師団の団長を経て、1916(大正5)陸軍大将、教育総監等陸軍要職をつとめ、1924(大正12)年予備役になる。

久松伯爵や井上要らにこわれて当時、「不良少年養成所」とまでいわれていた北予中学(現松山北高)の校長(従2位勲1等功2級の陸軍大将が田舎の中学校の校長になることなど当時として考えられなかったことであつたことから、このニュースは全国を流れた。単身赴任、余生(生涯最後の6年間)を無遅刻・無欠勤で後進の育成に尽くし、1930(昭和5年)11月4日午後7時10分、満71歳の生涯を閉じた。

「絶えて、権勢、名利を望まず、ひたすら騎兵に尽くす」馬に乗って登校する好古の姿を、松山市民は畏敬と尊敬の眼差しで見つめたが、その生涯は実にさわやかであつた。(続く)

第16回「温故創新セミナー」申込み受付中

ロジ研の皆様でお誘いあわせのうえご参加ください。お申込みをお待ちしております。

1.日時 10月16日(金)～17日(土)1泊2日/2.テーマ 「秋山兄弟を通して明治を見るー秋山好古・真之を訪ねて」/3.行先 愛媛県松山市内他金比羅神宮等、交通手段 四国内行程は貸切バス利用。/4.参加費 48,000円 予定人員25名(往路航空機代、昼食、夕食・懇親会費、宿泊費、2日目の朝食、昼食代、復路航空機代等)。なお、貸切バス代、施設入館料、宿泊費の一部をロジ研で負担しています。(集合)10月16日(金)7:45 羽田空港、(宿泊)「道後館」の予定、(解散)高松空港発のJAL1408便で18:20 羽田空港到着予定。/5.お申し込み 9月15日(火)までに、氏名、年齢、会社名、支部名、会社電話番号、携帯電話番号、FAX番号を記載のうえ、教育研修部宛ファックスでご送付ください。FAX.03-3359-6020